

報道関係者各位

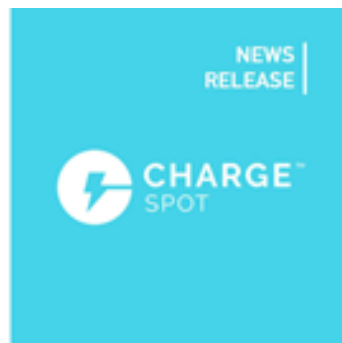


UnionPay、モバイルバッテリーシェアリング「ChargeSPOT」と提携開始 2022年1月11日（火）より、UnionPayアプリから 「ChargeSPOT」のサービス・支払いが利用可能に！

決済業界をグローバルにリードする国際カードブランド「UnionPay」を運営する銀聯国際（UnionPay International、UPI、本社：上海）は、株式会社INFORICH（本社：東京都渋谷区、代表取締役：秋山 広宣）が展開する日本設置数No.1※モバイルバッテリーシェアリング「ChargeSPOT（チャージスポット）」とのサービス提携を、2022年1月11日（火）より開始します。

このたびの提携により、UnionPayアプリから「ChargeSPOT」の検索や貸出手続き、支払いが可能となります。

※モバイルバッテリーレンタル（シェアリング）サービスを提供している各事業会社の公表データを元に算出（2021年10月現在／株式会社INFORICH調べ）



「ChargeSPOT」は、日本初のモバイルバッテリーシェアリングサービスです。レンタル方法は、対応アプリでバッテリースタンドのQRをスキャンするだけで簡単に操作ができます。「どこでも借りられて、どこでも返せる」をコンセプトに、日本全国47都道府県に設置されており、グローバルでも香港、タイ、台湾とエリアを拡大中です。

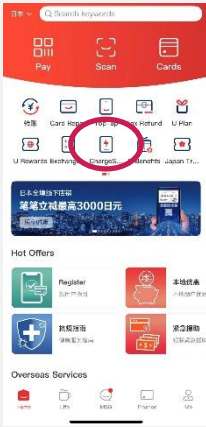
通常「ChargeSPOT」の利用には専用アプリのダウンロードや登録が必要ですが、このたびのサービス提携により、UnionPayカードホルダーであればUnionPayアプリ経由で「ChargeSPOT」の検索や貸出手続き、支払いが可能となります。

今後もUnionPay Internationalは、日常生活にかかわるあらゆるシーンでの日本におけるカードホルダーの利便性向上を目指し、UnionPay決済サービスのさらなる拡大に努めていきます。



<UnionPayアプリ内での「ChargeSPOT」の使用方法>

・借りる



①UnionPay アプリで「チャージスポットアイコン」をクリック、ページを開く



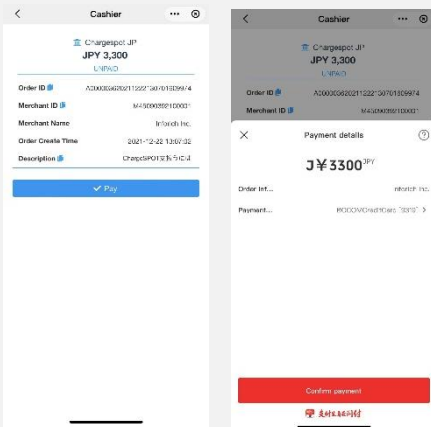
②近くの「チャージスポット」の拠点を確認



③機械のQRをスキャンして、「借りる」画面で「借りるボタン」をクリック



・支払い



デポジット金額を確認、決済
電池がチャージスポットより
出てくる

・返却



利用料金を引かれたデポジット
が返却される

「ChargeSPOT」とは

モバイルバッテリーシェアリング「ChargeSPOT」。対応アプリから近くのバッテリースタンドを探してバッテリーを借り、別のバッテリースタンドに返却することができます。「ChargeSPOT」の専用アプリに加え、各種対応アプリでQRコードを読み込んでバッテリーを借りることが可能で、専用アプリをダウンロードしていなくてもその場でサービスを利用できます。

◆「ChargeSPOT」WEBサイト：<https://www.chargespot.jp/>

UnionPayカードとは



UnionPayカードは、世界180の国と地域で使用可能です。加盟店は6,300万店に上り、70の国と地域で発行されています。（2021年6月時点）Unionpayが提供するQRコード決済は、世界中の約3000万店舗で、また、非接触IC決済「クイックパス」は、世界中の約2500万店舗で利用可能です。（2021年6月時点）

◆UnionPayカードWEBサイト：<http://www.unionpayintl.com/jp/>



UnionPay International（銀聯国際）とは

UnionPay International（銀聯国際）は、UnionPayの国際事業を取り扱う子会社です。世界最大級の顧客基盤を持ち、良質で便利・安全なグローバル決済サービスを提供。増加する海外会員に対しても日常に便利でその地に根付いたサービスを提供しています。

日本では2006年よりカード発行業務を開始し国内の加盟店数は130万店を突破しています。また、各大手銀行や全国のコンビニATMでも利用可能です。（2021年6月時点）